

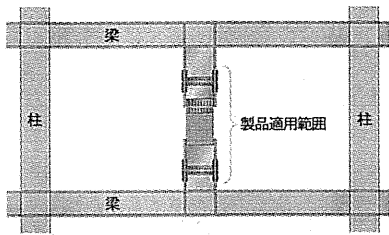
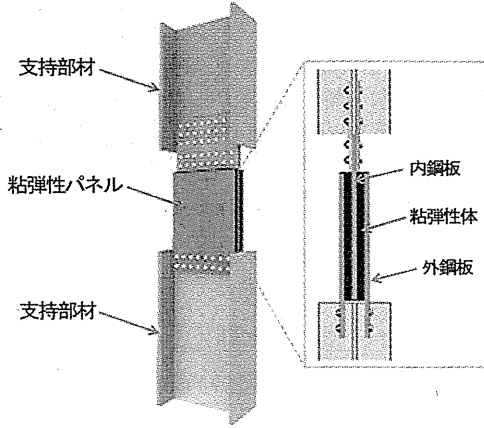
# JFEスチールなど3社

## 新型制振装置を開発

高減衰ゴムを採用 建物の揺れ、効率的に低減

JFEスチールは23日、制振装置「間柱型粘弾性ダンパー」を開発したと発表した。J

開発したダンパーの構造



の、制振装置「間柱型粘弾性ダンパー」を開発したと発表した。J

製品は上下の梁の間に設置する制振装置で、内鋼板と外鋼板の間に粘弾性体を接着した粘弾性パネルとH形鋼を用いた上下支持部材で構成。風揺れなどの微小な振動はもちろ

ん、大地震による建物の揺れや変形を低減し、鉄骨造や鉄筋コンクリート造など建物の構造種別にかかわらず適用が可能となる。

粘弾性体には、ブリヂストンが30年以上にわたって免震ゴム事業で培ってきた材料開発技術を活用し、減衰性能を強化した新開発の高減衰ゴムを採用している。

本製品の構造安全性と設計法の妥当性は3社が共同で実施した各種実験によって検証されており、今年3月には日本建築センターからの評定を粘弾性ダンパーとしては初めて取得している。

製品の販売を行う。初年度の売り上げ目標は1億円。